

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	番組制作2（制作基礎）	
科目基礎情報							
開設学科	放送芸術科		コース名			開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	講義			
教科書/教材	毎回プリントを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	宮川 佳己			実務経験の有無・職種	有・映像制作業務		
学習目的							
番組制作に関わる、“制作”の基礎的な知識をコースに関係なく習得させます。単に映像を作るだけでなく、人に見せ、伝えることを目指しています。企画から、撮影、構成、ノンリニア編集まで、映像制作過程を学びながら、情報番組を作り上げていきます。必要な映像制作技術がひととおり取得できて、さらに身につけた知識を自己表現ができる基礎的技能として習得させることを目指します。							
到達目標							
スケジュールの立て方や、経費の精算方法、スタジオやロケでの実働的なワークを学びます。台本制作や、番組制作の進行などを、“制作職”を中心に勉強します。知識というものは講義を聴いただけではなかなか身につかないため、実習授業と連動して、番組制作過程を理解し、基礎を学びノウハウを習得して番組作りに役立ててもらえる事を目標といたします。							
教育方法等							
授業概要	ビデオ、スライドを使って講義を行います。各回ごとにプリントを用意します。プリントの余白にメモを取るか、ノートにメモを取るように努めて下さい。授業中の私語は禁止しますが、ディスカッションは歓迎いたします。講義を聞いているだけでなくも質問をしたり、話し合ったりした方が知識は高まります。						
注意点	理由のない遅刻、欠席は認めません。社会へ出てからは最低限のルールだからです。授業中の私語、携帯端末等の使用も禁止します。特に私語は講義の進行妨害、他の生徒が講義を受ける事への妨害行為となる事から厳禁です。専門学校は専門知識や技術の習得だけを目的するものではありません。学生から社会人への移行の場でもあります。社会人としてのマナーや心構えも身につけて欲しいです。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	小テスト	0%					
	レポート	10%	課題内容を総合的に評価する				
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	制作基礎(1)		情報番組概要を理解する				
2回	制作基礎(2)		リサーチ、ロケハン ロケの注意点(道路使用許可など)を理解する				
3回	制作基礎(3)		スタッフの役割を理解する				
4回	制作基礎(4)		スケジュール作成・キャスティングを理解する				
5回	制作基礎(5)		ロケワークに関して（ロケ時の各スタッフの動き）を理解する				
6回	制作基礎(6)		番組制作の企画を理解する(1)				
7回	制作基礎(7)		番組制作の企画を理解する(2)				
8回	制作基礎(8)		メディアの種類、書き出しに関してポストプロダクションの流れを理解する				
9回	制作基礎(9)		スタジオ進行に関して（制作・技術ワーク）を理解する				
10回	制作基礎(10)		スタジオワーク（制作ワーク）を理解する				
11回	制作基礎(11)		映像制作（企画から取材・完成までのプロセス）を理解する				
12回	制作基礎(12)		企画・構成・取材の導入（ネタを探す・企画化する）を理解する				
13回	制作基礎(13)		企画・構成（リサーチと構成～音声とインタビュー）を理解する				
14回	制作基礎(14)		編集の基礎（ノンリニア編集機を使う）を理解する				
15回	制作基礎(15)		情報番組制作を通して番組作りを理解する				